

さいたま市長年頭記者会見

令和4年1月5日（水曜日）

午前11時01分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長年頭記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社、日本経済新聞社さん、進行をよろしくお
願いします。

○日本経済新聞 1月の幹事社を務めます日経新聞と申します。今年もどうぞよろしくお
願いいたします。

それでは、市長から年頭の挨拶をお願いいたします。

市長年頭あいさつ

○ 市 長 明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。旧
年中は、市政各般にわたりご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、今なお世界中で猛威を振るい続けている新型コロナウイルス感染症
の影響により、昨年もコロナ禍への対応に全力を傾けた1年となりました。
本市における新規陽性者数は昨年8月下旬から減少に転じ、社会経済
活動も徐々に再開され、街も活気づいてきたと感じています。

ワクチン接種につきましても、昨年11月末時点で2回目の接種を完了
した方が接種対象者の84.5%に達し、当初の目標を大きく上回るこ
うことができました。これもひとえに医療従事者の皆様や多くの市民の皆様のご
理解とご協力の賜物にほかなりません。この場をお借りして御礼を申し上
げます。

最新の感染状況については、1月3日時点で市内の検査で陽性が判明し
た方が累計20,034人、うち調査中を含む感染経路不明者が
10,001人、同日現在の陽性率は1.8%となっています。

先週1週間の新規陽性者数については10人で、先々週から4人増加し
ています。週別の新規陽性者数の推移については、これまで維持してきた
低い水準にはあるものの、日別の発生数について前週の同じ曜日を上回る
日数が増えてきており、増加傾向に転じる動きが見られます。

市内居住者の感染傾向については、1月1日時点の療養中の方は14人となっています。現在本市の感染状況は依然として低い水準にはあるものの、増加傾向に転じる動きが見られ、今後はオミクロン株の市中感染などにより急速に感染拡大が進むことが懸念される状況です。この新たな変異株への対応も含め、本市の検査体制や積極的疫学調査、健康観察業務の徹底を図るとともに、本市の感染状況に最大限注視してまいります。

続いて、本市のワクチンの接種状況についてご説明します。1月4日時点での接種対象者の接種済み割合については、1回目が86.8%、2回目が85.9%となっています。3回目については、5,662人、0.5%となっています。

次に、2月の接種会場についてご説明します。2月から、一般の高齢者の接種間隔は、2回目接種から7か月以上へと変更となります。このため、地域の医療機関の協力を得て、2月1日から市民の皆様の身近なかかりつけ医などで接種を受けられるよう準備しています。

2月は、市内の447の医療機関で接種を実施する予定です。

また、集団接種会場も市内の公共施設や民間施設など、身近な場所で接種を受けられるよう、2月は市内10区全てに集団接種会場を開設します。

3回目の接種は、会場ごとにファイザーまたはモデルナのワクチンを使用します。

次に、予約代行窓口の新設についてご説明します。現在区役所や一部の図書館、公民館等市内31か所で接種予約の相談や支援を行っています。一般の高齢者への接種用クーポン券の発送や接種がピークを迎える1月中旬から2月末には、市内の民間施設18か所に予約代行窓口を新たに開設します。

開設期間は、1月17日から2月28日までです。施設によって開設日や休止日等が異なりますので、詳しくは市のホームページをご覧ください。

インターネットでの接種予約に不安がある方は、こちらの窓口もぜひご利用ください。

引き続き、感染の再拡大に備えた保健医療体制の一層の強化、また3回目のワクチン接種の確実な実施など、感染拡大防止に向けた対策に努めてまいります。

市民の皆様、また事業者の皆様方には、基本的な感染予防策の徹底にご協力をお願い申し上げます。

また、昨年1年を振り返りまして、コロナ禍においても、昨年は本市にとってうれしい、また明るいニュースも数多くありました。昨年1月には、日本経済新聞の「全国市区・SDGs先進度調査」において、本市が全国1位の評価をいただきました。

4月には、新たな総合振興計画「2030さいたま輝く未来と希望（ゆめ）のまちプラン」に基づくまちづくりがスタートしました。

また、5月1日には誕生20周年という記念すべき節目を迎えました。「ありがとう20周年 ともに未来へ」をキャッチフレーズに、フラワーウォールの制作など、市民の皆様のご協力をいただきながら、年間を通じて様々な記念事業を実施しました。

また、市制施行20周年を機に、市制がスタートした日である5月1日を「さいたま市民の日」と定めるとともに、7月には市民の皆様の郷土への思いや市民としての誇りなどを込めた「さいたま市民憲章」を制定しました。

また、私ごとではありますが、5月26日には4期目の当選を果たすことができ、現在4期目をスタートさせているところです。

7月23日に開幕した東京2020オリンピック競技大会では、本市はサッカーとバスケットボールの会場として役割を果たしました。残念ながら、ほとんどの競技は無観客での開催となりましたが、オリンピック・パラリンピックの両大会を通じて、世界中から集まったアスリートたちが目覚ましいパフォーマンスを見せてくれました。さいたま市にゆかりのある選手も多数出場され、私たちさいたま市民に感動や希望を与えてくれました。

同じく7月には、本市の都心である浦和の魅力をさらに磨き上げるため、「(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン有識者懇話会」を設置し、会長には隈研吾氏にご就任いただきました。

また、9月には大宮駅グランドセントラルステーション化構想の推進に向けて、第1回「大宮GCS推進戦略会議」を開催しました。

本庁舎整備の方針については、10年後の令和13年度を目途に「さい

たま新都心バスターミナルほか街区」への移転を目指すこととし、庁舎移転後の現庁舎地については、市民サービスの拠点である浦和区役所や浦和消防署の機能は残しつつ、市民の皆様にとってより良い場所となるよう新たな利活用を図ることとしています。

この市の方針を分かりやすく市民の皆様にお示しさせていただくため、昨年12月に「新庁舎整備等基本構想」を策定しました。今後も引き続き市の方針について市民の皆様にしっかりと丁寧に発信して、ご理解をいただきながら、具体化に向けて皆様と一緒に作り上げていきたいと考えています。

未曾有の危機に対処する1年となった一方で、誕生20周年を迎え、本市のまちづくりを着実に前に進めることのできた1年でありました。皆様のご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。

さて、迎えた新年も新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守っていくことが最優先の課題です。ワクチンの3回目の追加接種を迅速、確実に進め、感染拡大防止に取り組むとともに、市内中小の事業継続と雇用の維持、さらには地域経済の回復に向けて全力で取り組んでまいります。

いまだその渦中にある新型コロナウイルスは、人々のくらしや働き方を一変させ、社会の在り方を大きく変えつつあります。その一つがデジタル化の加速です。

本市は、昨年4月にデジタルトランスフォーメーションに取り組むための指針となる「さいたまデジタル八策」を策定しました。本年もこの「八策」に基づいて、デジタルファーストな行政運営への転換を図り、行政手続の原則オンライン化、テレワークの推進などの取組を進めてまいります。

また、先ほど申し上げたとおり、本市は昨年、全国市区SDGs先進度調査において全国1位の評価をいただきました。持続可能な社会の実現に向けて、本市はE-K I Z U N Aプロジェクトやスマートシティさいたまモデルの推進、サーマルエネルギーセンターの建設着工など、先進的な取組を進めていますが、本年もゼロカーボンシティや環境未来都市の実現を目指した取組をさらに推進してまいります。

また、教育の分野やスポーツの分野など、本市が培ってきた強みや特徴に一層磨きをかける取組によって、2022年を都市としての成熟を深め

ていく1年にしていきたいと思います。

私自身、市長として4期目の任期として初めての年明けを迎え、改めて身が引き締まる思いです。新型コロナウイルス感染症を克服し、21年目を迎えるさいたま市政をさらに発展につなげていくためには、市民の皆様、また事業者の皆様のお力添えが不可欠です。本年もさいたま市政に対しまして、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

結びに、新年が皆様にとって幸多い1年となることを心から祈念申し上げます、私の年頭の挨拶といたします。

以上です。

幹事社質問：

① 令和4年度予算編成方針について

② 3回目の新型コロナワクチン接種の取組について

○日本経済新聞

ありがとうございました。

それでは、幹事社として代表質問をさせていただきます。2つありますので、まとめて行わせていただきます。

1点目が、間もなく来年度の当初予算案の市長査定が始まります。改めて予算編成方針についてお聞かせください。

2点目が、先ほど市長からもご説明がありましたけれども、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種が、高齢者を中心に間もなく本格化します。1回目と2回目の接種時の経験を踏まえて、3回目接種をスムーズに実施するためにどのように取り組むお考えでしょうか。よろしくお願いいたします。

○市長

それでは、幹事社からの質問に順次お答えします。

まず、問1の予算査定についてのご質問からお答えします。明日から新年度予算の市長査定を実施する予定です。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、先行きを見通すことが困難な状況にある中、感染症への対応については引き続き最優先とし、感染状況や経済的な影響を注視しながら、機動的かつ弾力的に取り組むとともに、感染症による危機を早期かつ確実に乗り越えるための取組を進める必要があります。

加えて、コロナ禍により顕在化した行政サービスのデジタル化の遅れなどの新たな課題に対して、ポストコロナに向けた取組を強化してまいります。

また、将来的な人口減少時代を見据えて、本市の人口がピークを迎えるまでの、いわゆる「運命の10年」の間に、「上質な生活都市」、「東日本の中枢都市」という2つの将来都市像の実現に大きく貢献する取組に重点的に予算を配分するなど、総合振興計画を着実に推進し、SDGsの達成に向けて持続可能な都市としての土台を構築していく必要があります。

こうしたことから、既存事業の全般にわたり、これまで以上にPDCAサイクルに基づく見直しと優先順位づけを行い、限られた財源を効果的、また効率的に活用していくことで、感染症への対応を第一としながらも、市民生活の向上に向けた取組や、また未来に向けた投資を着実にを行い、本市が将来にわたって持続可能な都市として成長発展していくための予算を編成してまいりたいと考えています。

続いて、2つ目のご質問です。3回目のワクチン接種の取組についてです。本市では災害級となった夏の感染拡大の収束後、第5波の感染への対応を検証するとともに、地域の医療関係者の皆様と意見交換を行い、次なる感染拡大に備えた体制強化や、新型コロナウイルスワクチンの接種体制の確保を進めてまいりました。

市民の皆様への感染予防と重症化予防、そして新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、安心して生活を送っていただくためには、間もなく本格化するこの3回目接種を円滑に実施していく必要があります。

1回目、2回目の接種の経験を踏まえ、円滑に3回目接種を実施していくための本市の新たな取組についてご説明します。2月から、高齢者の接種間隔を7か月に変更して実施しますが、接種券には接種時期の目安が一目で分かるように2回目の接種から7か月を経過する日付を大きく印字しています。この日付を参考にして、接種の予約を取っていただきたいと思っています。

また、コールセンターは、1月1日から受付時間を4時間延長して、朝9時から夜9時まで相談の受付を行っています。

さらに、先ほど説明したとおり、高齢者への接種券の発送や接種がピークを迎える1月17日から2月28日には、市内の民間施設をお借りして18か所に予約代行窓口を新たに開設して予約の支援を行います。

また、高齢者に情報を分かりやすく伝えるため、1月、2月は紙媒体で

の広報にも力を入れています。具体的には、自治会のポスター掲示や接種券への案内チラシの同封、また医療機関の一覧を市報と一緒に全戸配布するなど、高齢者のお手元にしっかりと情報をお届けできるようにします。

また、接種会場も先ほどスライドで説明したとおり、個別接種・集団接種とも十分な会場を用意しています。

なお、3回目の接種では、1、2回目で接種したワクチンの種類にかかわらず、ファイザー、モデルナのワクチンの接種が認められ、市内の接種会場でもモデルナを使用することとしました。どちらのワクチンを接種しても、(モデルナによる副反応の頻度が他の年代より高いとされる10代・20代の)若い男性を除いてワクチンの有効性及び安全性及び副反応は同様であることが報告されています。ワクチンを2回接種した方でも、時間の経過に伴い有効性が徐々に低下していくことが報告されていますので、ファイザーだけでなくモデルナの接種も検討していただき、早めの接種をお願いします。

以上です。

○日本経済新聞 ありがとうございます。

代表質問の説明に関してご質問のある方は、マイクを使用して質問をお願いします。

幹事社質問②に関する質問

○ 朝日新聞 朝日新聞です。新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくをお願いします。

ワクチン接種のことで1点お伺いします。年末に市長、堀内 (ワクチン接種推進担当) 大臣とウェブ会議をされて、モデルナのワクチンの安全性や早期接種を進めるための周知をしてほしいというお願いもされたと思うのですが、今回3回目接種を市内を進めるために、集団接種会場10か所のうち、3か所でモデルナを指定されています。市民の中には、モデルナよりもファイザーがいいんじゃないかという希望が多いとみられているんですが、その辺の配分、どのようなお考えでこういう配分にされたか教えていただけますか。

○ 市長 配付されるワクチンについては大体 (ファイザー) 6対 (モデルナ) 4、あるいは時期によっては5.5対4.5ぐらいになりますので、これまで

ファイザーを打っていた方々にも、モデルナを選択していただきたいということで、10か所のうち3か所をモデルナを打てる接種会場にしました。

私たちとしては、前半は特にファイザーを利用される方がいらっしゃるということも想定しながらも、モデルナ接種を選んでいただいて、早期にワクチンを打っていただくということも重要な視点だと思いますので、集団接種会場としては(ファイザー会場) 7対(モデルナ会場) 3という割合で設定させていただいています。

個別の医療機関については、しっかりと役割分担をしないと、間違いが生じる可能性もありますので、(ファイザーかモデルナの) どちらを打つか決めていただいたり、あるいは曜日ごとに変えていただくなどの工夫をしていただきながら、誤りのないように打っていただくという方向で準備を進めています。

○ 朝日新聞 今回は3か所、大宮区と中央区と南区がモデルナですけれども、今後定期的にまたずらすとか、どんどん循環していくとか、そういう感じなんでしょうか。

○ 市長 そこは担当からお願いします。

○ 事務局 モデルナを使用する会場につきましては、今後の個別の医療機関などのモデルナの使用状況なども見ながら検討していきたいと考えています。

○ 朝日新聞 あと1点ですが、個別のほうでも、モデルナを使っただけの医療機関を進めていると思うのですけれども、市民の中に接種される方が少ないと、敬遠される医療機関も多いと思いますが、この辺は市長としてどのように広めていく、お願いしていくおつもりでしょうか。

○ 市長 堀内大臣にもお話をしていますが、国からもモデルナのワクチンがファイザーと同じように効果があるということであったり、副反応の関係も大体同じぐらいのレベルであるということを知っていただくということと、また私たちも併せてそういった広報を積極的に行うことで、医療機関の皆さんにもご理解をいただきながら、モデルナのワクチンを打っていただける医療機関も一定数確保できるように調整していきたいと考えています。

幹事社質問①に関する質問

○ 埼玉新聞 埼玉新聞です。今年もよろしくお願いします。

 予算の関係で、新庁舎の基本計画の予算案は、新年度に入れるのかどう

かと、どういうふうに見られているのかというのを教えてください。

- 市長 予算案についてはこれから市長査定が始まりますので、その中で検討していくことになります。しっかりと(市民等への)周知を行った上で条例案を提出することになりますので、そういった状況を踏まえながらということになると考えています。

現時点では、まだ入れていくのかどうかについては検討中です。

- 埼玉新聞 今おっしゃった周知の関係、周知を徹底した段階でというふうにも取れるのですけれども、そういうことでよろしいのでしょうか。

- 市長 (12月定例会の)最終日にも申し上げましたけれども、しっかりと周知した上で、その後条例案を提出したいとお話をしていきますので、それを踏まえながら、予算についてはそれに連携した形で考えていくことになると思います。

- 埼玉新聞 改めて何うんですけれども、浦和自治連とか市庁舎の周辺の住民の方がいろいろな署名とか提出されていますけれども、配慮が欠けていたというふうにおっしゃっていましたが、この辺はどうして説明がされなかったのかということ、急遽12月から説明を始めたのはどうしてかというのを改めてお伺いしたいのですけれども。

- 市長 通常は、公式に説明をするということになると、ある程度案といいますか、構想が固まった上で説明するという段取りであろうと思います。また、事前にこういったことをつくりますよというような、そういったご説明も場合によってはお知らせするというケースも全くないわけではありませんが、今回はかなり地域の皆さんにも大きな影響を与えるということですので、早めにそういったお知らせ、あるいは説明をしておいたほうが、より理解は深まったのかなと考えています。

その他：コロナ禍における中小企業支援策について

- 日本経済新聞 それでは、1つお願いしてもよろしいですか。

冒頭でコロナ禍が長期化しているというお話があったと思いますけれども、今年もまだ先が見通しづらい状況ではあると思うのですが、地域経済の回復に向けても全力で取り組んでいくということで、地元の中小企業は長引くコロナ禍であったり、あと今足元では海外のサプライチェーンの混乱等もあり、事業の継続性が比較的難しいと思われる事業者も出てきてい

と思うのですけれども、今年1年間その地域企業をどういった形で支えていきたいのか、改めてお伺いできればと思います。

○ 市長

今回の長期化しているコロナ禍で、特に飲食業、あるいはサービス業を中心にかなり大きなダメージを受けています。また、今お話しのとおり、製造業などでもサプライチェーンが混乱しているという傾向がある中で、部品の調達ができなかったり、あるいは物流がしっかり行われないうことことから、本来作って販売すべきものが出来上がらないという状況も起こっています。その中で、私たちとしてはできるだけ早期にこうしたダメージを受けた中小企業の皆さんに、これまで以上に活躍をしていただけるように後押しをしていかなければならないと考えています。

その後押しのための一つは、例えばプレミアム付商品券の発行であったり、様々なそういった商業、あるいはサービス業などを中心とした取組もやっています。さらに中長期的なことも含めて考えると、デジタル化を促進して生産性を上げていったり、より利益を生み出しやすい、あるいは売上げを上げやすい、そういった構造に企業に展開していただく必要がありますので、デジタル化をしっかりとサポートしていくことであったり、それぞれ業種ごとに私たちも課題を見いだしながら適切にサポートしていきたいと考えています。

また、さいたま市がこれまでやってきているリーディングエッジ企業、市内の先端的な技術を持っている企業、これはオーダーメイド型の支援をそれぞれしていますが、今後状況によってはいろいろな業種ごとにきめ細やかなサポートをするということもさらに検討していきたいと思います。

その他：新庁舎整備に係る市民への説明について

○ 朝日新聞

朝日新聞です。

先ほどの市庁舎の関係で、年末に地元の住民の方、商店主の皆さんから説明をしてほしいと。自治連について、そういう要望がありました。今後説明会というのを実施されていく予定でしょうか。

○ 市長

旧浦和市内の4つの自治連は終わっていますが、それ以外はこれから1月前半にかけて説明させていただく予定にしていますし、今後は、基本構想もできましたので、それぞれご要望に応じて出前講座など、様々な機会でご説明させていただく機会をつくりながらご理解を深めていきたいと

考えています。

- 朝日新聞 それは、市長自ら住民、特に浦和の方が一番関心がおありだと思うのですが、直接お話をまたされるということでしょうか。
- 市 長 区ごとの自治連については、私が説明させていただくことにしています。また、今後の出前講座等については、私の場合もあるし、あるいは都市経営戦略部の職員が行ってご説明させていただくという機会もあると思います。2月には議会も始まりますので、必ず私が行くということではありませんが、各区の自治連の皆様、あるいは市全体といったところについては、できる限り私が出向いて説明したいとは考えていますが、それ以外については、職員の出前講座というような形で行うケースもあると思います。いずれにしても、できるだけ多くの皆さんにこの計画、あるいは経緯も含めてご理解いただくことが非常に重要だと思いますので、できる限りの取組をしていきたいと考えています。

その他：順天堂大学附属病院について

- 埼玉新聞 順天堂（大学附属病院）の関係ですけれども、年末27日ですか、郵送ですけれども、提出されたそうですが、その受け止めをお願いします。
- 市 長 12月27日に学校法人順天堂から埼玉県に対して病院整備計画の変更申請が提出されたと埼玉県から聞いています。細かい点までは承知しておりませんが、開院時期について、2030年3月までに800床を開院するスケジュールであると聞いています。また、1月17日に開催予定のさいたま市地域医療構想調整会議におきまして、順天堂の変更申請に係る説明をいただく予定と聞いていますので、そういったものを踏まえながら今後検討していきたいと思います。スケジュールが明らかにされたことについては前向きに評価していますが、私たちとしては、何といたってもできるだけ早く実施していただくことが望ましいと思っています。
- 埼玉新聞 当初から大分遅れて2030年3月ということなんですけれども、これについては改めて今できるだけ早くとおっしゃいましたけれども、改めて受け止めと、県のほうでは様々な受け止めがあるようで、順天堂ではない方針も示されるのではないかという話もありますけれども、その点の受け止めをお願いします。
- 市 長 県の医療審議会で決定されるものと理解していますが、私たちとしては

できるだけ早く実施していただきたいと思ひますし、やはり9年間、さいたま市として本来つくれる可能性のある病床がそこまで十分ではない状況が続くということについては危惧しているところですので、できるだけ早期に実施していただきたいというのが私たちの思ひです。

○日本経済新聞 よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

以上をもちまして本日の記者の質問を終了いたします。

○ 進 行 以上をもちまして市長年頭記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催は1月20日木曜日午後1時半からを予定しております。本日はありがとうございました。

午前11時34分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。